

地磁気極性境界を特徴づける Characterization of magnetic polarity boundaries

兵頭 政幸^{1*}

HYODO, Masayuki^{1*}

¹ 神戸大学

¹ Kobe University

地磁気極性層序はさまざまな分野で年代決定に用いられている。堆積速度が比較的一様な深海底堆積物の場合、表層から連続してコアを採取し古地磁気測定すれば信頼度の高い磁気層序年代決定ができる。しかし、陸上に露出した地層は長い時間をカバーしていないことが多いため古地磁気極性層序研究は難しい。その地層に絶対年代制約がない場合、極性境界が見つかって標準地磁気極性層序のどの境界に対比するかに自由度があるからである。しかし、各極性境界固有の特徴が明らかであれば、その自由度は減り対比の信頼度が高い磁気層序年代が決まる。本研究では、2.6Ma以降のクロン、サブクロンの境界についてこれまでに公表されている詳細な古地磁気および古気候データをレビューし、層序対比を確実なものにする極性境界固有の特徴づけが可能かどうかを検討する。また、磁気層序年代法がよく用いられる古人類学の分野で、特に重要な遺跡について、磁気層序年代法が適用された例を紹介する。

キーワード: 地磁気極性境界, 磁気層序, 気候層序, 人類の拡散

Keywords: geomagnetic polarity boundary, magnetostratigraphy, climatostratigraphy, hominid dispersion